

十勝の金融経済概況

1. 全体感

十勝の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。

すなわち、公共投資は、持ち直している。設備投資は、高水準で推移しているものの、弱めの動きがみられる。住宅投資は、弱めの動きとなっている。個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。生産は、下げ止まっている。労働需給は、引き締まった状態が続いているが、幾分緩和の動きがみられる。

先行きについては、企業の賃金・価格設定行動や人手不足が管内の経済活動全般に及ぼす影響を注視していく。

2. 最終需要の動向

公共投資は、持ち直している。

公共工事請負金額は、前年を上回った。

設備投資は、高水準で推移しているものの、弱めの動きがみられる。

主要企業の12月短観における2024年度設備投資計画は、前年を下回っている。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

新設住宅着工戸数は、持家が前年を上回った一方、貸家は前年を下回り、全体では前年を下回った。

個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直している。

主要小売店売上高は、前年を上回った。

耐久消費財をみると、乗用車新車登録台数（含む軽）は、軽乗用車が前年を下回った一方、普通・小型乗用車が前年を上回り、全体でも前年を上回った。家電販売は、弱めの動きとなっている。

旅行・観光関連をみると、主要温泉地の宿泊人数は、前年を下回った一方、と

かち帯広空港の乗降客数、市内ホテルの宿泊人数は、前年を上回った。

3. 生産・雇用・企業倒産の動向

生産は、下げ止まっている。

乳製品の生産量、生乳の生産量ともに前年を上回った。

製材生産量は、前年を上回った。

労働需給は、引き締まった状態が続いているが、幾分緩和の動きがみられる。

企業倒産（負債額 10 百万円以上）は、発生しなかった。

4. 金融情勢

預金残高は、前年を上回った。

貸出残高は、前年を上回った。

貸出約定平均金利は、上昇した。

以上